



熊本経済記者クラブ2社へ記者発表



林政記者クラブ3社へ記者発表

九州国有林の約半分は人工林であり、これらは着実に資源が充実し、利用期を迎えています。このため、引き続き間伐を推進するとともに、将来的に均衡がとれた齢級構成に移行させることに配慮しつつ、主伐とその後、再造林を計画的に推進します。こうした取組を通じ、森林資源の循環利用をしながら、森林の有する多面的機能の持続的な

平成26年度重点取組事項

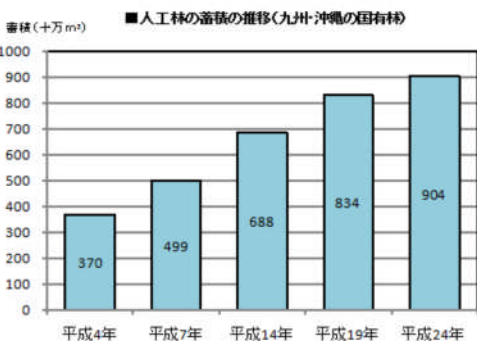
九州森林管理局では、4月24日、平成26年度重点取組事項の記者発表が行われました。冒頭、川端省三局長から一般会計移行から2年目を迎えるにあたり、昨年度からの取り組み事項をさらに充実化させる旨の発言の後、各担当部長から具体的な取り組みについての説明を行いました。

一般会計移行2年目の国有林野事業取組のさらなる充実を目指して

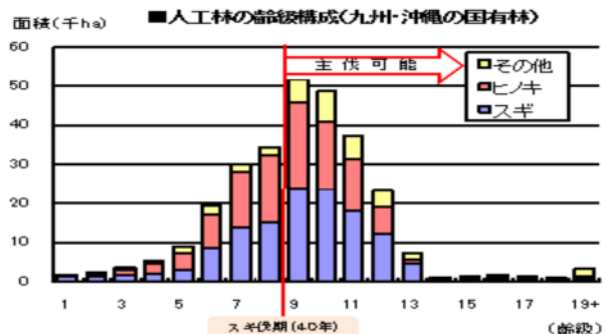
☆ 主伐・再造林を推進し、森林資源の循環利用を行うことにより、森林の有する多面的機能を持続的に発揮

公益重視の管理経営の一層の推進

1・森林資源の循環利用による多面的機能の維持増進



資料：林野庁「森林資源現況総括表」



資料：林野庁「森林資源現況」(平成24年3月31日)

發揮を図るとともに、地球温暖化対策における森林吸収源対策にも貢献します。



平成25年度検討会の模様（鹿児島県東串良町）

☆ 国民生活の安全・安心を確保するため、梅雨や台風などの集中豪雨により荒廃した林地等の緊急復旧を行うなど、災害に強い国土の形成に向け、計画的かつ効果的な治山事業を展開。また、民有林と国有林の連携により効率的な治山事業を推進。

(1) 海岸防災林の整備に向けた検討

東日本大震災以降、津波等に対する国民の防災意識が高まる中、九州森林管理局では平成25年11月、津波等の減衰効果を発揮する海岸防災林の整備方針を検討するため、関係自治体と合同で現地検討会を開催しました。

2・国民生活の安全・安心の確保に向けた取組



平成25年度川原地区（長崎県五島市）
【木製床固工：木材使用量44.8m³】

(2) 木材の利用推進及び溪流生態系保全に資する治山事業の推進



平成25年度唐山地区（鹿児島県薩摩川内市）
【防風工：植栽木を強風等から保護する施設】

平成26年度においても、民有林・国有林連携して海岸防災林の機能向上に向けた取組を展開します。



平成25年度楽之浦地区（宮崎県小林市）
【流路工の壁面に現地で発生した土石を使用】

現地の木材や土石を使用した木製床固工や木製土留工など治山施設への木材の利用を推進します。また、生物の生息・繁殖環境の保全や在来種による緑化など、溪流生態系保全に資する治山事業の推進に積極的に取り組めます。

3・生物多様性の保全に向けた取組

☆ 世界自然遺産候補地となっている「奄美・琉球」の貴重な森林生態系の適切な保全・管理に向けた取組

☆ 公益的機能維持増進協定により、国有林に隣接・介在する民有林を含めた一体的な整備・保全を推進

(1) 奄美・琉球の世界自然

遺産登録に向けた取組

昨年12月に開催された「奄美・琉球世界自然遺産候補地科学委員会」において、「奄美大島・徳之島・沖繩本島北部・西表島」の4島が推薦候補地に選定されたところです。

このような動向も踏まえ、「奄美群島森林生態系保護地域」及び「西表島森林生態系保護地域」において、亜熱帯性広葉樹林等で構成される森林生態系の適切な保全・管理等を推進します。



仲間川のマングローブ林（西表島）

②公益的機能維持増進協定の取組

平成26年3月、九州で初めて公益的機能維持増進協定（参考1）を締結しました。

平成26年度は協定に基づき国有林が協定民有林も含めて一体

的に森林整備を行います。屋久島町においては外来種であるアブラギリの防除等、霧島市においてはスギ人工林の間伐等に取り組みます。



間伐予定の民有林（霧島市）



アブラギリの繁茂状況（屋久島町）

4・地域と連携したシカ被害対策に向けた取組

☆ シカ被害等の実態を踏まえ新たな捕獲手法等を検討するとともに、効果的・効率的な個体数管理を進めるため、地域や関係機関と連携した取り組みを推進

①シカ被害把握・生息状況等調査及び新技術の導入・実証

シカ被害の著しい地域（九州中央山地、屋久島など）において、被害状況をモニタリングするとともに、シカの生息密度や生息環境による行動状況調査、未捕獲地域における捕獲手法等の検討を行います。

また、モデル地域（祖母傾地域）を設定し、地域の農林業関係者等と連携を図りながら、誘



シカ狙撃のための餌による誘引（大分県佐伯市）

引狙撃法等の新技術を組み合わせた新たな対策の実証に取り組みます。

②地域の要望に応じた支援協力

「くくりわな」や「巾着式あみはこわな」などの捕獲技術の成果を講習会等を通じて普及するとともに、市町村や地元猟友会との協定に基づくわなの貸し出しなど、地域の要望に応じた支援協力を推進します。

また、熊本・大分・宮崎の3県が隣接する地域（高森町・竹田市・高千穂町）において、九州農政局や地元の広域協議会等とも連携したシカ被害対策に取り組めます。



巾着式あみはこわなの講習会（大分県山国町）

九州からの森林・林業の再生

1・林業の低コスト化に向けた取組

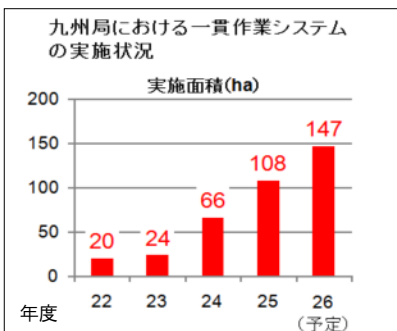
☆ 造林分野の低コスト化を進めるため、伐採と造林の一貫作業システムの実証・普及の拡大に取組

☆ コンテナ苗の実需時期と生産出荷体制のマッチングを図る調整会議を新たに開催

☆ さらになる低コスト化を目指し、エリートツリー等のコンテナ苗生産技術と供給体制の確立を支援

①低コスト化の取組の拡大・普及

路網整備と高性能林業機械による間伐の低コスト化を引き続き推進するとともに、主伐林分において伐採と造林を一括して



注) 立木販売箇所における一貫作業システムは含まない

発注する一貫作業システムの拡大による造林分野の低コスト化に取り組みます。

これまでの伐採請負事業の箇所に加えて、立木販売の箇所においても一貫作業システムを導入します。

②コンテナ苗の生産拡大と安定供給に向けた支援



平成25年度コンテナ苗育苗技術向上意見交換会（熊本県南阿蘇村）

新たに普及が進みつつあるコンテナ苗については、民有林・国有林を含めた実需時期と生産出荷体制の調整が必要となっているため、県や苗木生産組合等の関係者に呼びかけて調整会議を立ち上げます。

これにより、育苗者にとって出荷時期と労務の平準化に寄与し、ひいては生産拡大と安定供給に資することが期待されます。また、併せて主伐・再造林の

推進に伴う国有林の将来的な苗木の需要増についても、関係者に情報の提供を行います。

③エリートツリー等優良品種によるコンテナ苗生産技術と供給体制の確立

成長の優れた優良品種によるコンテナ苗は、下刈の省略化など低コスト造林の重要なツールです。

これまで九州地域で選抜されたエリートツリー等優良品種の種苗を用いて挿し木及び実生によるコンテナ苗生産を実証し、生産技術の確立を支援します。

また、将来的には苗木生産に必要な穂木等の採取に国有林のフィールドを活用することも含めて供給体制の確立を目指します。



2・木材の安定供給体制の確立に向けた取組

☆ 地域の木材需要情報等を収

集し、木材の安定供給体制の確立及び利用拡大に資するよう、地域の木材需給動向に応じた供給対策を実施

☆ 民有林との協調出荷を含めた素材のシステム販売を引き続き推進するとともに、新たに立木のシステム販売の取組

☆ 木質バイオマス発電用原料材等の安定供給に向けた取組を推進

①地域の木材需給情報の収集等

民有林と連携して新たに設立される九州地区の広域原木流通協議会への参画等、国有林材を含めた地域の木材需給動向等を把握する取組の強化を図るとともに、引き続き有識者等による国有林材供給調整検討委員会の意見も聞きつつ、地域の木材需給動向に応じた供給対策を実施します。

エリートツリー
(3年生：樹高4.2m)
②システム販売の活用
の推進

素材(原木)のシステム販売については、引き続き国産材の利用拡大に取り組む者等に対し安定的に原材料を供給するとともに、民有林との協調出



システム販売協定工場（鹿児島県肝付町）

荷についても推進します。

また、新たに主伐林分における立木のシステム販売(複数年協定)に取り組みます。実施に当たっては、対象箇所や一定の条件を提示して、伐採した木材の需要拡大や林地保全等に優れた伐採方法等の企画提案を公募します。

③木質バイオマス発電用原材料の安定供給への寄与

平成27年度以降に本格化する木質バイオマス発電所の稼働に向けて、原材料の需要動向を的確に把握し、システム販売等による原材料(C材)の安定供給に努めます。

また、初回間伐林分等を立木販売する取組を拡大するとともに



木質バイオマス発電施設(大分県日田市)

に、需要に応じて林地残材の販売に取り組めます(参考2)。

④企業等による原材料確保に向けた分収造林の斡旋

製材用材や木質バイオマス発電用原材料等の資源確保のニーズに対応し、企業等による分収造林を積極的に呼びかけます。

3・森林・林業再生を牽引する人材育成に向けた取組

☆ フォレストスター等の育成及びスキルアップを図るための研修、セミナー等を開催

☆ 民有林と国有林のフォレストスター等が連携して活動するための取組を支援

(1) 森林総合監理士等の育成及びスキルアップの取組

昨年度から制度化された森林総合監理士（通称「フォレスター」以下同じ。）の候補者育成を図るため、技術者育成研修等を実施するとともに、フォレスター等の継続的なスキルアップを図るためのセミナー等を開催します。



平成25年度准フォレスター研修（熊本県芦北町）

【技術者育成研修（ブロック研修）】

目的⇨フォレスター候補となる若手技術者の育成
 対象⇨国、県の職員等40人程度
 内容⇨森づくりを構想するための実習、循環的な木材生産の戦略を描くための実習及び演習



平成25年度フォローアップセミナー（九州森林管理局）

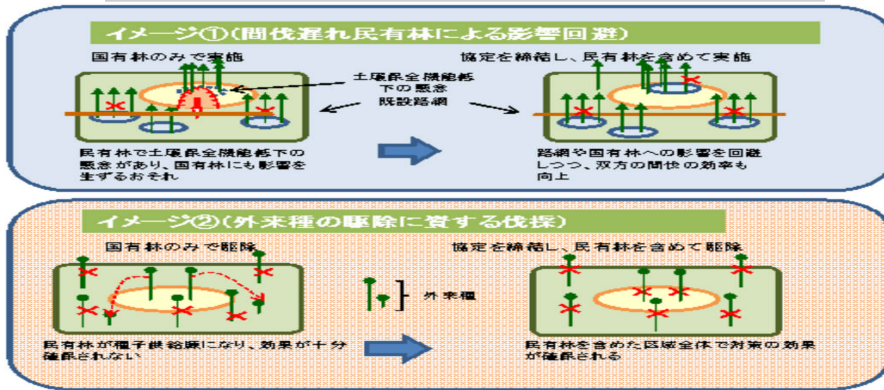
【フォレスター等活動フォローアップセミナー（仮称）】

目的⇨フォレスター等の継続的スキルアップ
 対象⇨フォレスター、准フォレスター等
 内容⇨効果的な活動に必要な優良活動事例の報告や新たな知見習得のための有識者による特別講演

(2) 民有林と国有林のフォレスター等が連携して活動するための取組

フォレスター等が市町村を支援する活動を行う際には、民有林と国有林のフォレスター等が連携して活動することが効果的であるため、「九州フォレスター等活動推進連絡協議会（仮称）」等、両者の連携を強化する体制づくりを支援します。

公益的機能維持増進協定のイメージ



■ : 所有者等から事業費の1/3を上限に負担を求め、国有林分の事業と一括して発注
 ■ : 協定により、伐採対象木を権利放棄するとした場合、国の立木と見なして、国有林の事業として実施

参考1

【九州フォレスター等活動推進連絡協議会（仮称）】
 目的⇨フォレスター活動の促進等による九州の森林・

参考2

木質バイオマス発電への原料（未利用材）供給の取組

木材のカスケード利用を基本として、従来、未利用であった材の活用を促進する必要
 ○従来、切捨間伐の対象となっていた林分の立木販売に取組
 → H25年度：2,3事業において、2物件、約9百m3を販売
 ○黒材生産現場等に残留されている端材等（林地残材）の山元販売を促進
 → H25年度：約42百m3の同向販売を実施

端材等（林地残材）



山元販売



立木販売



木質バイオマス発電所

チップ工場

【搬出期間：最大3年】
 ・葉枯らし乾燥可能
 ・大量の原料ストック
 ・次回間伐の低コスト化（搬出路等の作致）

燃料の運搬

間伐材等の燃料への加工

木質バイオマス原料の供給拡大には、木材需要全体の拡大と端材等の効率的な収集システムの確立がポイント

林業の再生
 対象⇨九州・沖縄各県のフォレスター、准フォレスター等
 内容⇨九州・沖縄各県の林業施策等の情報交換・共有や検討会等の実施
 （担当⇨企画調整課）

森林保護員巡視活動の出発式

【大分森林管理署】登山客の増加が見込まれるゴールデンウィークを前に、大分森林管理署、大分西部森林管理署合同による森林保護員（愛称「グリーンサポーター・スタッフ」）出発式を九重町の長者原ビジターセンターで行いました。森林保護員による巡視活動は、登山利用者の集中化により植生荒廃などの恐れがある「くじゅう連山」を対象としたパトロールを行い、登山者など入込利用者の状況把握と利用マナーの指導、登山道の危険箇所の把握や注意喚起、植物踏み荒らし防止のために登山道沿いの立入規制のロープ柵の設置などを行うこととしています。今回の前期巡視については、7



出発式で雇用通知書を受ける＝大分

月31日までの予定で、週末や祝日を主体に活動することとして

います。

公益的機能維持増進協定の締結 鹿児島署・屋久島署2箇所締結

公益的機能維持増進協定は、平成24年6月の森林法の一部改正により、創設されました。この制度は国有林の公益的機能の維持増進を図る必要がある場合、森林管理局長は民有林の森林所有者などと公益的機能維持増進協定を締結し、協定区域内の森林整備及び保全を行うものです。この協定の取り組みは、平成25年度の九州森林管理局の重点取組事項のひとつとして協定の締結を目指し、九州局管内全署を対象とし国有林に介在する民

有林を調査し、協定候補地の検討に取り組み、2つの協定を締結することができました。

霧島市国分川内地域 公益的機能維持増進協定 調印式



鹿児島署管内の協定を締結

屋久島永田地域 公益的機能維持増進協定調印式



屋久島署管内の協定を締結

また、屋久島署管内の屋久島永田地域の協定は、世界自然遺産地域等で、国有林及び民有林内に繁茂している外来樹種であるアブラギリの駆除を一体的に実施することにより、森林の公益的機能の維持増進及び世界自然遺産地域等の保全を図るため、屋久島町の民有林所有者2人の方と3月28日に協定を締結しました。平成26年度から3年間、協定に基づきアブラギリの駆除（除伐等）を実施します。

（担当Ⅱ計画課）

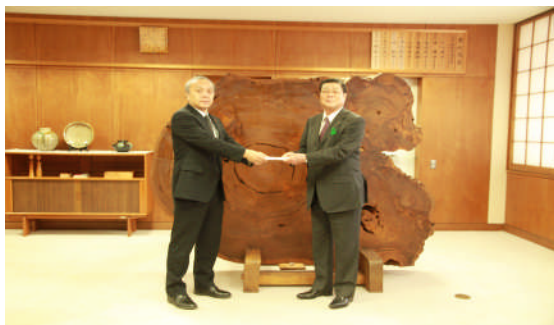
みどりの募金贈呈 全国の森林整備や緑化推進事業に活用

緑の募金運動は、国土緑化運動の中核的な推進手段として国民参加の森林づくりを推進するために一層の進展が期待されるとともに、「森づくりと木づかい」を通じて東日本大震災の復興を支援していくことが求められています。

（担当Ⅱ技術普及課）

このため、「緑の募金全国一斉強調月間」として、「みどりの月間」（4月15日～5月14日）を重点的に募金活動が展開されています。

この緑の募金全国一斉強調月間に先駆け、4月9日九州森林管理局局長室において、緑の募金贈呈式が行われ、（社）熊本林業土木協会会長永野征四郎氏から川端省三局長へ募金が手渡されました。（社）熊本林業土木協会からは毎年募金の贈呈が



永野会長（右）から川端局長へ募金の贈呈

自署の名山



熊本森林管理署

矢部内大臣森林事務所

地域統括森林官 佐藤英也

熊本県中央部の美里町と八代市の境界に位置する雁俣山（かりまたやま）は、標高1315

九州中央山地国定公園北端に位置 「雁俣山」1315m

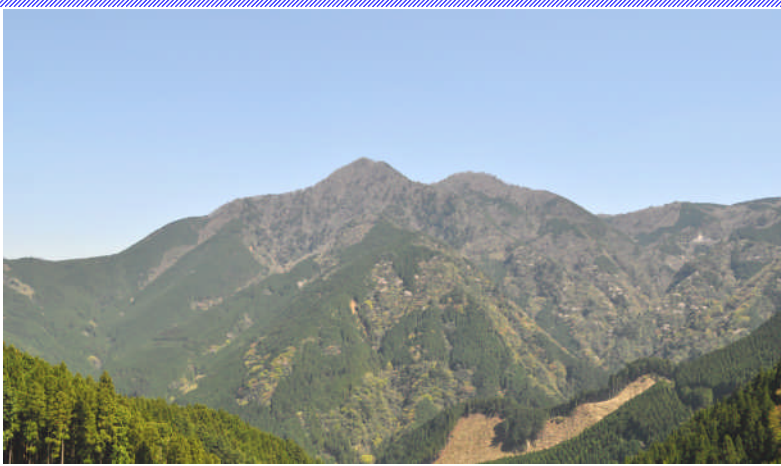
されています。

山名は、山の姿が双峰をなし、鎌（やじり）の一種である狩俣に似ていることから由来すると

言われています。林内は、樹齢140年生以上のブナ、ミズナラ、イヌシデ、ヒメシヤラなどの広葉樹を主体

に、モミ、ツガなどの針葉樹が混生して林立し、樹下にはスズクサが密生しています。

また、スズクサが見られない林内の一部には、九州では希少な植物種で熊本県のレッドリスト絶滅危惧Ⅱ類（VU）に指定されているカタクリが自生しています。



雁俣山の眺望



雁俣山山頂から見おろした美里町

登山コースは、二本杉峠の広場から雁俣山遊歩道を登ると約1時間で山頂に着するコースです。山頂直下は急な登りとなり

クリの群生地へは、ここから約10分程度で、4月下旬から5月上旬のカタクリの開花時期には多くの登山者で賑わいを見せます。山頂付近ではヒカゲツツジやミツバツツジの花が迎えてくれます。



「カタクリ」の花

登山口までのアクセスは、熊本市内から自家用車で国道218号線を山都町方面へ行き、三和交差点（旧砥用町）で五家荘へ向かう国道445号線を通って二本杉峠の登山口まで約1時間の行程です。

野鳥のさえずりを聞きながらの登山は森林浴も兼ねており、心身のリフレッシュ効果と健康増進が期待できます。みなさまも是非体験してみたいかがでしょうか。

菊池渓谷で山開き

【熊本森林管理署】熊本自然

休養林菊池水源地区の菊池渓谷で4月11日山開きが行われ、菊池渓谷を美しくする保護管理協議会をはじめ関係者約100人が出席。今シーズン多くの利用者の方々などの無事故を祈願しました。神事後、森本義春署長が、昨年度から公益重視の経営の一層の推進などを柱として、一般会計による管理運営となったこと、森林が多くの公益的機能を発揮していること、緑と水が織りなす菊池渓谷の自然美などについて挨拶を行いました。最後に関係者によるテープカットが行われ今シーズンの幕開けを行いました。



山開きに参加した関係者「熊本

国土の67%が森林・木材自給率が28%の日本

世界では東京都の面積の約24倍もの森林が毎年消滅していますが、日本は森林の面積が直近40年間横ばいで森林蓄積量は年々増えているのが現状です。



森林が国土の約7割を占める日本は、先進国の中でフィンランドに次いで2番目に高い水準で、世界有数の



日高勝三郎商店

代表者

日高勝三郎

日本の木材自給率は約3割。消費する木材の約7割を輸入に頼っています。日本の人工林は戦後の復興に必要な木材を確保するために「拡大造林政策」によって増加しました。

当時の家庭用燃料は木炭や薪が中心で当社もその木炭産業で経営成長を遂げました。木材は生活に欠かせない存在であり、その恩恵を現代も享受しております。先人に感謝です。

林業は他の産業と比べ今は決して魅力ある産業とは言えませんが、拡大造林政策によって、成熟した人工林がたぐきさんある！山づくりから生産販売に至る費用も効率化・改善の余地はまだあります。現に海外では立派な産業として成立しています。そこから学び、日本仕様に自ら考え、工夫を施し、他の産業と肩を並べれば、担い手も自然に集まると思われます。

打開策として、農林水産省は「森林・林業再生プラン」を平

地域住民はもちろんの事大都会の生活用水として活用され工業用水としても使われています。一番大切なこの水を生み出す山の再生、活用をどうして行くか

成21年に策定しました。単に木材自給率向上を目指すだけの取り組みではありませぬ。国・県・市町村・森林組合・民間事業者、すべてが一丸となって取り組むべきと考えます。

現代の我々には、暮らしを豊かにしてくれた先人の恩恵を守り、今の暮らしを持続させることが、未来の世代に求められています。「未来にきれいなバトンを渡す」それを実行する時代に入ったといえるのではないだろうか。

私もその一員として知恵を出し、汗を流そうと思う。

内川下流域でも水生調査、カヌー教室なども行っております。

国有林、共用林、民有林にある山の神、山にかかわる色々な話、山里のくらし、山の資源を

して山の役割などをどうして子どもたちに伝えていくか、後継者不足の解消など行政と民間、その他の機関と相互に良く協議し今後の山のありかた緑の国土森づくりをどうして行くかわれわれ山に携わる者の役割ではないのかとおもいます。

(宮崎県えびの市在住)



私の居住するえびの市は宮崎県、鹿児島県、熊本県の県境に位置しております。



田原和俊さん

当市を流れる川内川は九州では筑後川の次に長い川です。源流は熊本県白髪岳から始まり宮崎県えびの市より下流の鹿児島県の各市町村の田畑を潤し、川内港から大海へと注ぎ出されています。

山(森林)は生命の源である

森林の力

現在、国有林を始め共用林、民有林などを見つみますと手入れが行き届いている山、行き届いていない山があちらこちらに見受けられます。これらの山は

私達NPOえびの市ではボランティア活動で水源づくりとしての山の植樹、草の下刈りなどを

行っております。又渓谷でのキャンプ、水遊び水生調査その他川

新任挨拶 どうぞよろしく

平成26年4月1日付けの異動で新しいポストに着任した地域木材情報分析官と3人の新課長・6人の森林管理署長を紹介します。

地域木材情報分析官



狩野 誠
かの まこと

年齢 57歳
出身地 福岡県

抱負 二度目の九州局勤務となりました。長らく署勤務を続けましたが、これまでとは業務の内容の異なる仕事に従事することとなり、初心に返り日々励もうと考えていますのでよろしくお願ひします。また、生活習慣の改善にも努める(努力目標)所存です。

総務課課長

年齢 57歳
出身地 熊本県



浪崎 晃
なみさき あきら

経理課課長

ら総務課長になりました。一般会計化2年目で国有林の真価が問われる重要な年であることから、地域に親しまれる国有林を目指すとともに、皆さんが健康で災害のない明るい職場で働けるよう精一杯努めてまいりますので、よろしくお願ひします。



山本 博
やまもと ひろし

年齢 57歳
出身地 熊本県

抱負 公共調達における入札・契約手続きの競争性及び透明性の確保を図り、より一層の適正化に向け会計法令などに基づく適切な実施に取り組んでいきたいと考えています。よろしくお願ひします。

保全課課長



迫口 親
さこぐち ちかし

年齢 57歳
出身地 熊本県

抱負 民有林や地域の関係者との連携を一層深め、公益重視の管理経営を推進するとともに、地域の振興や地域住民の福祉向上に係る各種要請への適切な対応が求められています。地域などからの要請に的確に応え、ともに鳥獣害対策などを着実に推進できるように取り組んでまいりますのでよろしくお願ひいたします。

福岡森林管理署長



西林寺 隆
さいりんじ たかし

年齢 55歳
出身地 宮崎県

抱負 地域との良好な関係を築き、国有林のよりよい管理経営を目指すとともに、安全で健康な明るい職場づくりに努めます。よろしくお願ひします。

大分森林管理署長



有村 孝一
ありむら こういち

年齢 57歳
出身地 宮崎県

抱負 九州局勤務は、昭和の時代の高千穂署に続き2回目です。災害のない健康で明るい職場作

りに努め、公益重視の管理経営の一層の推進のため、民有林と一層の連携強化を図りながら、各種業務に職員一体となって頑張っていきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

宮崎森林管理署長



崎野 健輔
さきの けんすけ

年齢 53才
出身地 鹿児島県

抱負 生まれ育ちでは、吹上浜の国有林にお世話になっていましたが、九州での勤務は初めてになります。これまで勤務が多かった東北とは異なり、山の様子、その扱い方、仕事の進め方には不慣れですので、職員の皆様をはじめ、現場の方々の話をよく聞いて、仕事に取り組んでまいりますので、よろしくお願ひします。

北薩森林管理署長

年齢 56歳
出身地 愛媛県



佐賀 賢二

さが けんじ

務となります。前回勤務した沖繩署とは山の様子もずいぶん違ってはいますが、風通しの良い働きやすい職場作りに努め、公益的機能の発揮や森林・林業再生への貢献など地域や民有林に期待される国有林となるよう取り組みたいと考えていますので、よろしく願います。

屋久島森林管理署長

抱負 九州局での勤務は、平成元年の中津宮林署以来であり、そのほか、熊本での九州農政局や沖繩での総合事務局勤務なども思い出深いものがあります。今回、北薩署でお世話になります。民有林の関係機関などとも連携を図り、地域の森林・林業の発展のために努力していきたいと考えておりますので、よろしく願います。

大隅森林管理署長



山口 輝文

やまぐち てるふみ

年齢 47歳
出身地 鹿児島県
抱負 およそ10年ぶりの九州勤



樋口 浩

ひぐち ひろし

年齢 57歳
出身地 福岡県
抱負 1年前まで屋久島駐在自然遺産保全調整官として勤務し、大変馴染みのある屋久島は、縄文杉や世界自然遺産地域が有名ですが、地元産材(地杉)の活用推進も大きな課題です。災害のない明るい職場作りに職員全員で取り組み、自然との共生を目指した業務運営に努めていきたいと思えます。
(担当：総務課)

治山・林道工事コンクール表彰式
優良施工業者5社と技術者4人を表彰

九州森林管理局では4月8日、平成25年度治山・林道コンクールの表彰式を行いました。今回のコンクールは、工事実施における施策効果の発揮に貢献し、民有林の模範としてふさわしい工事を行った治山工事1社、林道工事2社に対して局長表彰を行いました。



コンクールで表彰された関係者のみなさん

- ◆林野庁長官賞(治山工事)
 - 長尾治山工事(関連災)
 - 《都城支署発注》
 - 株式会社財部組
 - 代表取締役 川畑弘志
- ◆林野庁長官賞(林道工事)
 - 永葉林道新設工事
 - 《熊本南部署発注》
 - 昭和建設株式会社
 - 代表取締役 福元秀逸
- ◆九州森林管理局長賞
 - 【工事の部】
 - 由布岳治山工事(導流堤)
 - 《大分署発注》
 - 小倉建設株式会社
 - 代表取締役 永吉陽一
 - 布計林道2057支線新設工事
 - 《北薩署発注》
 - 薩摩建設株式会社
 - 代表取締役 山本求道
 - 庄府3078林道新設工事
 - 《宮崎署発注》
 - 春山建設工業株式会社
 - 代表取締役 春山義正
 - 【技術者等の部】
 - 長尾治山工事(関連災)
 - 主任技術者 山波文和(株式会社財部組)
 - 監督職員 農林水産技官

谷川建設新入社員記念植樹

【長崎森林管理署】東彼杵町遠目国有林にて、株式会社谷川建設の新入社員19人による記念植樹が行われました。当日は、ヒノキやカエデ、ヤマザクラ、約250本を植樹。初めて植樹をする新入社員は、職員の手導を受け、なれない作業に苦戦していました。当日は天候に恵まれ、今後、植樹した苗木の生長とともに、新入社員が大きく成長されることを願いながら、無事に記念植樹を終えました。



職員の指導を受ける新入社員＝長崎

監物台樹木園を無料開放

「みどりの月間」一環行事として

4月15日から5月14日まで実施されている「みどりの月間」の一環行事として、広く一般の方々に緑に親しんでもらうため、今年は4月20日(日)と「みどりの日」の5月4日(日)に監物台樹木園を無料開園としました。

様子は当日のローカルニュースで放送され、監物台樹木園を一般の方々に広くPRすることができました。テレビ放送の効果もあり、無料開園した両日で約800人の方々が来園され、監物台樹木園を満喫されていました。

(担当＝技術普及課)



花見頃の監物台樹木園

無災害を誓い安天会を開催

【西都児湯森林管理署】管内事業実行中の請負事業者等関係者51人と当署職員が参加し請負事業者等の安全大会を開きました。秋山郁男署長及び担当者が



関係者が参加して開かれた安全大会＝西都児湯

「シカ被害対策」協定の調印

【熊本森林管理署】3月19日、当署会議室において、熊本県山都町、熊本県猟友会矢部支部長、清和支部長、蘇陽支部長、森本義春署長及び関係者20人が出席。山都町内のシカ被害軽減対策にかかる協定の調印式を行いました。この協定は、山都町内国有林及び周辺のシカ被害対策推進のために、関係者が協力体制を構築し、シカによる農林業被害及び生態系被害の防止を促進することを目的としたものです。

当日は関係者に対し「笠松式くくりわな」や国有林林道の入口にかかる鍵の貸与を行うものです。調印式では、関係機関の協力体制を構築することにより、山都町内でのシカ被害軽減を図ることが一層期待されるとの挨拶があり、今後、協定者との情報共有、安全の確保などを図りながら、当協定にかかる取り組みを進めていくこととしています。

長崎国際テレビが取材

【長崎森林管理署】長崎県が主催する「長崎県民が選んだながさきの100の風景のいきものたち」に、「ながさき いきもの自然百景」に、大村森林事務所管内の「菅瀬スギ」が選ばれ、5月7日に長崎国際テレビの取材を受けました。管轄する大村森林事務所森林官の松井弘喜さんがインタビュに応じ、県内には菅瀬スギなど貴重な動植物があることや、今後も多く

の県内外の方々にもふれあってもらい自然のすばらしさを感じて欲しいこと、国としても後世に伝えられるようにしっかりと管理することなどを力強く答えていました。



取材を受ける松井森林官＝長崎

木を使うこと・森林を育てること、実はつながっています



農林水産省 林野庁

よどぎ千年の森への植樹祭

【都城支署】特定非営利活動法人よどぎ1000年の森をつくる会主催で、都城市内の国有林において植樹祭が開かれ、家族連れや企業などから約500人が参加。当署からは4人の職員が植樹指導を行いました。当日は天候に恵まれ、一人5本ほどの植樹に汗を流し、終了後は豚汁が振る舞われたのしい一日となりました。この植樹祭は平成8年度から毎年行われ、同会がどんぐりから育てた苗木を植栽しています。これらの苗木は一株500円でオーナー募集があり、その資金は今後の保育作業に使われます。



植樹祭へ参加した大勢の参加者
II都城



違和感がありました。10年ぶりにJR上熊本駅に降り立ち、周りを見回しますと何か変です。新幹線の高架や駅舎が新しいのは当然予想していましたが、変わっているようで変わっていない風景が見られました。それが何であるのか2日目にして気がついたのは、JR旧駅舎の位置がおかしいことで、よく見ると

十年ぶりの熊本勤務

が、これは昔からそうだったのか、他の城の白壁のイメージがなせる故なのか今のところ不明です。最近の城の復元では、創建時の姿とするため、黒い壁面

が増えているとも聞いています。熊本の街は、大きく変貌してはいますが昔の風景を残しつつ、新しい街作りを進めているように感じられました。

国有林の業務も年々変化して行きますが、これまでの蓄積された歴史に準じつつ、新たな業務に取り組みたいと考えています。

(地域木材情報分析官 狩野 誠)



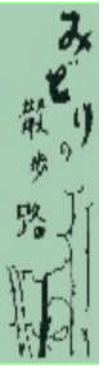
暖地のやや乾いた林下にきわめて普通にある常緑亜高木で、分枝が多く葉を密につけています。

ヒサカキの葉は南九州では、お墓に飾る花(仏花)の代用として利用されます。お墓の花の代用には、その地域にあまり分布しない珍しい植物の常緑の葉が利用されます。奄美大島ではスギの葉が、南九州ではヒサカキが一般的ですが、身近にあるクロキもお墓の花として利用されています。

79 ヒサカキ(ツバキ科)

ヒサカキの花は下向きに咲き強い匂いがあり、雄花、雌花、両生花が咲き、それぞれの花は、別株に1種類だけ咲きます。花の雄しべは多数あり、雌しべは1個の子房と3つに分かれた花柱があります。下向きの花を上向きにして花の中を覗いて観察すると判別は簡単です。

葉は互生で縁には鋸歯があります。葉は一見すると、葉先が鈍端に見えますが、ルーペで見ると二つに分かれています。葉や花の観察にはルーペを使うと楽しくなります。



今春、我が家の西洋実桜(サクラソボ)が三年目にして花を咲かせ沢山の実を付けた。実が赤くなるの心待ちにて毎日楽しみにしていた。同じく、小鳥たちも楽しみにしていたようで、人と鳥の争奪戦になった。勝ち得たのは、少し色がついたらもぎ取る人(妻)であった。▼「夏も近づくと八十八夜・・・」八十八夜時期は立春からかぞえて八十八日目にあたる日でおおむね五月の初め頃だとか。夏に移る節目とも言われる。このころ摘み取られるお茶は、昔から不老長寿の縁起物の新茶としても知られている。▼季節は既に春を過ぎて初夏のはずだが、五月に入り朝夕めっきり寒くなった感じ。朝の気温は7度しかない。近所の方との朝の挨拶も「寒いですね」から始まる。▼クールビズは5月から10月末までとされている。今の調子では半袖への衣替えはかなり遅れそう。▼沖縄地方は梅雨に入ったそうである。九州地方の梅雨入りはまだであるが、毎年集中豪雨等の被害が出ている。災害が無いよう切に願いつつ梅雨入りを待ちたい。(か)